佐藤　恒一（さとう こういち）さん　（90 歳男性）　要介護４　特別養護老人ホーム入所中

脳出血後の後遺症により右片麻痺があり、車いすで生活している。ADL 全般に介助を要し、近年は認知症の進行もみられる。近頃、車いす座位のズレが頻回に見られ、仙骨部・右大転子部に発赤がある。
また、佐藤さん以外にも施設全体で褥瘡の悪化・新規発生が増えており、新人スタッフへの「褥瘡予防のためのケアについて」の再指導が課題となっている。

【ADL・身体状況】

■右片麻痺、体幹筋力低下あり　■立位不可／移乗・体位交換：全介助
■移動：車いす全介助　■座位：支持なしでは不安定。時間経過で骨盤後傾・右側へずれる
■意思疎通：簡単な声かけにうなずき・単語で反応あり
■皮膚状態：仙骨部・右大転子部に発赤あり（褥瘡リスク高）

【試験内容】

あなたは特別養護老人ホームに勤務するフロアリーダーです。この度、新人スタッフが多いフロアにおいて、褥瘡予防と座位姿勢の指導を任されました。
試験官を新人スタッフに見立て、以下①～③について実演および口頭で指導してください。
※試験時間：12 分　※説明が聞き取れない場合は加点対象となりません。

① 新人スタッフに対し、以下を口頭で指導してください。
・褥瘡の定義
・発生・悪化の要因（皮膚的・身体的・社会的）と好発部位
・日常的な皮膚観察の注意点や異常発見時の対応

②正しい座位姿勢の指導
・車いすでの正しい座位姿勢について実際に車いすを用いて実演指導、口頭指導してください。
（本人に合っていない車いすを使用すると座位ずれや傾きの要因となります。その点も踏まえて指導してください。）

③座位補正（実演）
以下を含め、佐藤さんの座位補正を実演してください。
・前方から臀部を奥へ座り直す介助
・クッション等を用いた体圧分散・体幹保持

【実技試験会場図】